

科目名	英語演習		必修 学校必修 選択履修	使用 教材	ELEMENT English Communication II Make Progress in English Reading 国公立大難関私大 2 度聴き精聴トレーニング
学年	3 学年	単位数	2	教科担当	市川 哲也

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学 期	中間考査まで (6 時間) Make Progress in English Reading Unit 1-3 2 度聴き精聴トレーニング 1-3 ELEMENT English Communication II 復習 添削課題	<ul style="list-style-type: none"> 英語の発展的な理解能力・表現能力、またその支えとなる語彙・文法の力を身につける。 英語の 4 技能を生かしたコミュニケーションに対する積極的な姿勢や、言語文化に対する興味関心を養う。 教養を高める。
	期末考査まで (10 時間) 期末後 (2 時間) Make Progress in English Reading Unit 4-9 2 度聴き精聴トレーニング 4-9 ELEMENT English Communication II 復習 添削課題	<ul style="list-style-type: none"> 英語の発展的な理解能力・表現能力、またその支えとなる語彙・文法の力を身につける。 英語の 4 技能を生かしたコミュニケーションに対する積極的な姿勢や、言語文化に対する興味関心を養い、教養を高める。
2 学 期	中間考査まで (10 時間) Make Progress in English Reading Unit 10-14 2 度聴き精聴トレーニング 10-14 入試過去問題 添削課題	<ul style="list-style-type: none"> 英語の発展的な理解能力・表現能力、またその支えとなる語彙・文法の力を身につける。 コミュニケーションに対する積極的な姿勢や、言語文化に対する興味関心を養い、教養を高める。
	期末考査まで (12 時間) 期末後 (4 時間) Make Progress in English Reading Unit 15-18 2 度聴き精聴トレーニング 15-20 入試過去問題 添削課題	<ul style="list-style-type: none"> 英語の発展的な理解能力・表現能力、またその支えとなる語彙・文法の力を身につける。 コミュニケーションに対する積極的な姿勢や、言語文化に対する興味関心を養い、教養を高める。

評価の観点	関心・意欲・態度	思考判断	技能・表現	知識・理解
	①予習への取り組み ②授業での取り組み ③活動への取り組み ④復習への取り組み	①語句の意味の推測 ②文構造の判断 ③文章構成の推察 ④本文の持つメッセージの考察	①英文の音読 ②本文の要約 ③本文の内容に関する自己表現 ④授業における発表	①語彙力 ②語法・文法理解 ③異文化理解 ④本文関連の発展事項の理解
評価方法	定期考査、小テスト、提出物、活動への取り組み	定期考査、小テスト、提出物、活動への取り組み	定期考査、小テスト、提出物、活動への取り組み	定期考査、小テスト、提出物、活動への取り組み

普通科 英語演習のルーブリック

評価の観点			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養			知識・技能、情報活用力	論理的思考力・情報発信力	協働力、粘り強く取り組む力
評価規準			基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、適切に表現・発信ができる。	グループワークやペアワークなどあらゆる場面で、多様な価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動をすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。
A	立高生として目指すべき目標	レベル4	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、適切に表現・発信ができる。	グループワークやペアワークなどあらゆる場面で、多様な価値観を持つ人と積極的に議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動においてリードすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことがしばしばできる。
B	立高生として求める標準	レベル3	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を処理し、活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾のないプロセスを立てることができる。その内容について、場面に合わせて発信ができる。	グループワークやペアワークなどの場面で、多様な価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動を積極的にすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。また、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。
		レベル2	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を整理することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向かうため、矛盾のない筋道を立てることができる。その内容について、場面に合わせて表現ができる。	グループワークやペアワークなどの場面で、さまざまな価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解し、時々行動に移すことができる。また、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことが時々できる。
C	立高生として初歩的段階	レベル1	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てる方法を理解している。その内容について、場面に合わせて表現する方法を理解している。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどの場面で、さまざまな価値観を持つひとと議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解している。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解している。
評価方法			定期考査・行動観察	定期考査・行動観察	定期考査・行動観察
観点別評価			レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載